



2022年8月12日

各 位

会 社 名 株式会社ウイルプラスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 成瀬 隆章
(コード番号:3538 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 柴田 学爾
TEL (03) 5730-0589

配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、2022年8月12日開催の取締役会において、下記のとおり配当方針の変更を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識しております。

このたび、中長期的な業績動向および資金需要の見通し、ROE等の資本効率などを総合的に勘案し、当社の2023年度以降の配当方針の変更を行いました。

当社は、企業価値向上を目指すための重要な経営指標(KPI)として「ROE15%」(自己資本利益率)を掲げ、中長期的にその水準の維持向上を目指しております。

利益配分につきましては、企業価値向上に寄与する投資を推進しつつ、財務状況やROE水準などを総合的に勘案し、従来以上に株主の皆様を重視した積極的な配当政策に努めてまいります。

2. 配当方針変更の内容

中長期的にROE15%以上を目標とする。(2022年度ROE実績 19%)

「適正資本の維持」及び「株主還元の更なる拡充」を同時実現していくために、配当方針を下記のように変更する。

《変更前》

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題の一つと位置付けており、企業価値向上のため内部留保を確保しつつ、安定的に配当を継続して実施していくことを基本方針とし、また中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を実施することとしております。

《変更後》

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題の一つと位置付けております。

中長期的に配当性向 30%を配当方針とし、2026年度までに、配当性向を 30%まで段階的に引き上げていきます。また2027年度以降は、引き続き配当性向 30%を配当方針としながら、配当額の下限をDOE4.5%を目安に、安定的かつ継続的な利益還元の維持・向上に努めてまいります。

注1: 配当性向

その期の純利益(税引後利益)から、配当金をどのくらい支払っているかをパーセンテージで表したものの。
純利益×配当性向=配当総額となります。

注2: 株主資本配当率(DOE)

企業が株主資本に対してどの程度の配当を支払っているかを示す指標。

真の配当性向とも呼ばれています。

配当水準を示す指標としては配当性向が一般的ですが、当期純利益は変動幅が大きいいため、株主還元の状況を
示す指標として株主資本を基準にした DOE への注目が高まっています。

■ 株主資本配当率 (DOE) = 年間配当総額 / 株主資本 × 100 (%)
= 配当性向 × 株主資本利益率(ROE) × 100 (%)
DOE 4.5% = 配当性向 30% × ROE15%

3. 適用時期

2023年6月期より適用いたします。

(ご参考)

	年間配当金予想(円)			
	第2四半期末	期末	合計	配当性向(%)
2022年6月期	5.00	29.90	34.90	21.4
2023年6月期	15.00	26.17	41.17	22.5

配当金推移

